

持続可能な農業を目指して

農業は私たちの食生活を支えるために欠かせない産業です。県ではその中でも有機農業をはじめとする「環境に優しい農業」の拡大に取り組んでいます。

今回は「環境に優しい農業」とはどのような農業なのか、なぜ重要なのかを、県の取り組みや従事する人の思いと共に伝えます。

皆さんもこの機会に環境に優しい農業について理解を深め、食べることで応援してみませんか？

なぜ今、環境に優しい農業が求められる？

県が環境に優しい農業を推進する理由や、そのための県の取り組みを担当者に聞きました。



県庁農政課
たなか ひとし
田中 一史さん

日本では化学肥料の原料のほとんどを輸入しているため、世界情勢や円安の影響を受け肥料の価格が高騰し、農業経営を圧迫しています。また化学肥料や化学合成農薬の過剰な使用による環境や生き物への影響などが懸念されています。

こうした状況を受けて「環境に優しい農業」の拡大が求められています。環境に優しい農業とは、畜産堆肥などの有機物を使った土づくりを通じて、化学肥料や化学合成農薬を削減するなどして環境に配慮した持続可能な農業のことです。

畜産業が盛んな群馬県の強みを生かし、堆肥を活用した有機質肥料の普及を図るため、県では今年度新たに堆肥活用に関するモデル事業を実施しています。この事業を契機に県内の畜産業で発生した堆肥を有機農業に活用する、資源循環型農業の仕組みづくりを進めていきます。

環境に優しいさまざまな農業

県では化学肥料と化学合成農薬を使用しない有機農業の面積拡大を目指しています。しかし有機農業を始めることは簡単ではありません。そこで農家の皆さんがそれぞれの状況に合った環境に優しい農業に取り組めるよう、有機農業の他に「特別栽培農産物」と「ぐんまエコファーマー」の合わせて3つの環境に配慮した農業の実践を農家の皆さんに呼びかけています。

3つの環境に優しい農業

有機農産物



化学肥料と化学合成農薬を使用せず、遺伝子組み換え技術を利用しない

特別栽培農産物



※5割低減の場合

県内の一般的な栽培法と比べ、化学肥料と化学合成農薬を5割以上低減する

ぐんまエコファーマー

土づくりを行いながら、従来の自分の栽培と比べ、化学肥料と化学合成農薬を2割以上減らしたり、温室効果ガス削減に取り組んだりする



高

環境への貢献度



県内の市町村でも有機農業が広がっています！

県内では甘楽町、高山村が地域ぐるみで生産から消費までの一貫した有機農業の取り組みを行う「オーガニックビレッジ宣言」をしました。学校給食での有機農産物の利用や「オーガニックマルシェ」での地産地消を始めています。

甘楽町の有機農業の取り組みを動画で紹介しています！



動画視聴はこちらから▼



甘楽町ホームページ▼



高山村ホームページ▼



農林大学校では昨年度から県民向け講座「ぐんま農業実践学校」に有機農業コースを設け、野菜における有機栽培技術の習得を支援しています。さらに今年度からは、「社会人コース」に新たに「有機農業専攻」が開設されました。どのような人が何を学ぶのか、どんな思いで授業を行っているのかを、担当する定方さんに聞きました。



県立農林大学校 社会人コース
さだかた ようすけ
定方 陽介さん



▲実習の様子

農林大学校社会人コースに「有機農業専攻」を設置！

このコースは社会的に環境に配慮した農業が必要とされている中で、有機農業に関する教育を進めるために設置されました。現在は有機農業での新規就農を希望する、社会人経験者6人が生徒として学んでいます。

環境保全のためには、有機農業を継続していくことがとても重要です。私が授業を行う上で1番大切にしていることは、生徒自身がどんな農業をしていきたいかを決められるように、たくさんの情報を伝えるということです。

例えば化学合成農薬を使用せずに近年の高温による雑草や病害虫の駆除などに対応するのは、とても大変です。そこで実習や県内外の有機の先輩生産者を訪問するなどして、生徒たちにその実情を知ってもらうようにしています。また有機農業でも、自然由来の成分を使用した農薬であれば使用できることなどを伝えています。生徒が自分の状況に合った有機農業で就農できるようにサポートしていきたいです。